

天理参考館 3月のイベント

| | | | |
|--------------------|---|--|--|
| 1(月) ～ 15(月) | 天理大学附属天理参考館・奈良県立橿原考古学研究所附属博物館・天理市教育委員会 共同展「天理 山の辺の古墳」 | 9:30～16:30 | 要入館券 |
| 1 (月) | ★マンデートーク★②② 早坂文吉 学芸員 「台湾先住民パイワンと祖先の蛇」 台湾南部に暮らすパイワンの始祖伝説では蛇が祖先として登場し、今でも人々から崇拝されています。彼らパイワンが作り出す道具にも蛇が装飾上の模様として表現されています。パイワンの神話の世界とその造形をご紹介します。 | 13:30～13:45 1F 常設展示室 | 要入館券 |
| 8 (月) | ★マンデートーク★②③ 青木智史 学芸員 「中国古代の貨幣の話」 殷や西周の時代に用いられていた貨幣はタカラガイの貝殻でした(貝貨)。それが次第に青銅で造られるようになり、春秋戦国時代になると各国で様々な形状の青銅貨幣が出現します。中国古代の貨幣について紹介します。 | 13:30～13:45 3F 常設展示室 | 要入館券 |
| 12 (金) | ◆文化庁支援事業「ヤマト・天理の歴史文化をめぐる」プロジェクト 連続講座「発見！世界の考古学」【第6回】 古代エジプトのピラミッドとは何か？ —その発展過程とメイドゥムのピラミッド— 講師：大城道則(駒澤大学 教授) | 13:30～14:30 エントランス ホール 定員 45名 【先着】 | 参加費無料 常設展無料 ※共同展 要入館券 |
| 13 (土) | 共同展記念講演会 3次元測量で浮かび上がる古墳の姿 講師：石田大輔(天理市教育委員会文化財課 係長) ※定員に達しましたので申込みを締め切りました。 | 13:30～14:30 2F ホール 定員 40名 【事前申込】 | 要入館券 |
| 14 (日) | 近鉄文化サロン阿倍野「天理市観光協会共催講座」 現地講座「出土品から読み解く古墳時代の天理 —三角縁神獣鏡・腕輪形石製品・武器— 講師：藤原郁代 学芸員 ※近鉄文化サロン阿倍野に直接お申込み下さい。 電話 (06)6625-1771 FAX (06)6625-1770 [受付時間] 9:45～20:00 (日曜・休講日 9:45～17:30) | ※ 13:30～15:00 2F ホール | ※有料 |
| 15 (月) | ★マンデートーク★②④ 荒田 恵 学芸員 「バリ・アガの村ーバリ島トゥンガナン村ー」 バリ島の先住民であるバリ・アガの人々が暮らすトゥンガナン村について、当館の資料を紹介しながらお話しします。 | 13:30～13:45 1F 常設展示室 | 要入館券 |
| 22 (月) | ★マンデートーク★②⑤ 日野 宏 学芸員 「滑石模造品のまつり」 4世紀後半から5世紀にかけて、滑石で様々な器材を象った石製品がまつりの道具としてつくられます。展示品からその具体像を紹介したいと思います。 | 13:30～13:45 3F 常設展示室 | 要入館券 |
| 29 (月) | ★マンデートーク★②⑥ 幡鎌真理 学芸員 「災厄を祓う雛人形の力」 うらかな春を迎え、雛人形を飾ります。現代と同じく、昔から人びとは感染症などの災厄に苦しんでいました。人形はその災厄を退ける力があると考えられています。アマビエだけではない、雛人形のパワーをご紹介します。 | 13:30～13:45 2F 常設展示室 | 要入館券 |
| 休館 | 3/2(火)、3/9(火)、3/16(火)、3/23(火)、3/30(火) | | |

予定は変更する場合がありますので、当館 Web にてご確認ください。